

学校だより 安佐北

修学・克己・敬愛

広島市立安佐北中学校・高等学校

TEL 082-818-0656-0600 FAX 082-818-5140
web <http://www.asakita-h.edu.city.hiroshima.jp>

平成 23 年度
第 1 号
4 月 23 日
(卯月)
(April)

「偶成」 朱熹

少年易老学難成 (少年老い易く学成り難し)
一寸光陰不可軽 (一寸の光陰軽んずべからず)
未覚池塘春草夢 (いまだ覚めず池塘春草の夢)
階前梧葉已秋風 (階前の梧葉すでに秋風)

少年はあっという間に年をとり、学ぶべきことを学ばずに終わる。時間を無駄にしてはいけない。池の端で草が春の夢をまどろんでいるうちに、庭先の桐の葉は黄色く染まり、すでに秋だ。



◎ 入学式

4月6日(水)正門前の桜も今日が盛りとばかり咲き誇る中、入学式が行われました。中学生79名、高校生113名を迎え、中学校新入生代表 上田菜月さんと高等学校新入生代表 高野健太君が力強く宣誓をしてくれました。



宣誓文

暖かな日差しに春を感じる今日、私たち中学生79名、高校生113名の新入生は、これから始まる新しい生活に期待で胸をふくらませ、安佐北中学校、高等学校に入学します。

今日、私たちは中学校生活のスタートを切りました。オープンスクールでの先輩方の生き生きとした姿に、「私たちもあんな風になりたい。」と、あこがれて安佐北中学校に入学しました。今、私たちの心は、夢や希望でいっぱいです。「部活と勉強を両立させたい。」「楽しい学校生活を送りたい。」そんな気持ちにあふれています。そして、苦しいことや悲しいことは、79名の仲間が助け合い、支え合って乗り越えていきたいと思えます。

先生方、先輩方、私たちは何事にも一生懸命取り組みますので、今日から



よろしくお願ひします。

今日、私たち113名は、高校生活のスタートを切りました。勉強も今まで以上に難しくなり、これからの3年間の道のりは、決して平坦ではないと思います。今日まで私たちは、時には失敗しながら、多くの人に導かれ、支えられて成長してきました。しかし、これからは自分自身がじっくりと考え、意志を決定して前に進まなければならないことも多いことなのでしょう。大きな壁の前に立ち止まりそうになることもあるかもしれません。そんな時は「努力は人を裏切らない」という言葉を胸に、仲間と協力しながら、一步一步階段を上っていきます。

私たちは、安佐北中学校、高等学校の生徒として誇りを持ち、それぞれの未来に向かって歩み続けることを誓います。

◎ 着任者紹介

この度の春の異動により、11名の教職員の方を迎えました。

- | | | |
|-------|-------|------------|
| 【校長】 | 猪原龍之 | 安佐北高等学校より |
| 【教頭】 | 中島光博 | 舟入高等学校より |
| 【国語科】 | 板倉理恵 | 安佐南中学校より |
| 【地歴科】 | 兼本大二郎 | 美鈴が丘高等学校より |
| 【理科】 | 生田晃治 | 基町高等学校より |



- | | | |
|----------|------|-----------------|
| 【英語科】 | 西山 朗 | 広島工業高等学校 (全) より |
| 【主査(事務)】 | 山本 薫 | 基町高等学校より |
| 【主事(事務)】 | 金山明子 | 大芝小学校より |
| 【技術員】 | 山本大志 | 大塚小学校より |
| 【嘱託】 | 住川 勇 | 安佐北消防署白木警防隊より |
| 【学校事務員】 | 高橋重美 | 安佐北高等学校より |

◎ 離任者紹介

13名の先生方が、転退任されました。

- | | | |
|----------|--------------|------------------------|
| 【校長】 | 阿部修三 | 退職 |
| 【教頭】 | 猪原龍之 | 安佐北高等学校へ |
| 【地歴科】 | 田中英治 | 退職 安佐北高等学校へ |
| 【国語科】 | 小坂 剛
合原実世 | 広島市教育委員会へ
美鈴が丘高等学校へ |
| 【理科】 | 本堂大作 | 舟入高等学校へ |
| 【英語科】 | 今田哲夫 | 広島商業高等学校へ |
| 【養護教諭】 | 緒方千賀子 | 基町高等学校へ |
| 【主査(事務)】 | 高橋重美 | 退職 安佐北高等学校へ |
| 【主査(事務)】 | 松陰利光 | 中区保険年金課へ |
| 【嘱託】 | 沖野鈴夫 | 退職 |
| 【臨時業務員】 | 新居 進 | 期間満了 |
| 【学校事務員】 | 瀬崎栄子 | 退職 |



◎ オリエンテーション合宿

恒例の1年生オリエンテーション合宿が、1組、9日(金)、10日(土)、2組、21日(木)、22日(金)に実施されました。中学校生活が始まって初めて、親元を離れ、いわゆる「同



じ釜の飯を食う」共同生活を行いました。新しい仲間と親交を深めるとともに、中学校の学習がどのようなものかを、中、高校の上級生から学びました。



◎ 大学等合格状況

平成23年度入試の合格状況は、次のようになっています。(卒業生数 95名)

国公立大学	28名
	(過年度3名含む)
私立4年制大学	81名
	(過年度1名含む)
私立短期大学	4名
医療看護系専門学校	16名
専門学校	13名
就職	1名

今年度は、東京工業大学、大阪大学等難関大学への合格者が増加しています。

◎ 学校経営目標

学校教育目標の基本目標を「自己に挑戦し、社会に貢献できる人間の育成」として掲げ、具体目標を次の3つとしています。

- より高い目標に向かって挑戦する生徒の育成
- 高い見識を持ち、品格ある行動ができる生徒の育成
- 豊かな人間性を持ち、社会に貢献できる生徒の育成

この目標に沿って、「学びと品格」をキーワードに本校の教育活動を行っています。



「学び」において、安佐北中学校入学者には、安佐北中・高等学校の6年間(6年課程)をもって、安佐北高等学校入学者には、安佐北高等学校の3年間(3年課程)をもって「充実した安佐北教育」を展開します。

生徒が「大きな夢」を描けるよう鍛えます。その夢を確かな「志(こころざし)」に変えることができるよう鍛えます。そして、志(こころざし)が「実現できる実力」となるよう鍛えます。

「品格」においては、豊かな人間性と規範性の育成を図ります。感性を磨き、規範意識を浸透させ、自主的で品格ある行動を培う教育を推進します。(了)